

# 琉球大学学術リポジトリ

## 恩賜財団奨學會『日の光』第一號

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2018-04-16 キーワード (Ja): 矢内原忠雄, 南洋, 恩賜財団奨学会, 日の光 キーワード (En): Yanaihara Tadao 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/38167">http://hdl.handle.net/20.500.12000/38167</a>



# 矢内原忠雄文庫

史料名	恩賜財団奨學會『日の光』第一號 大正十四年一月二十六日發行
封筒番号	273
原文所所蔵者	琉球大学附属図書館
撮影年月日	平成 17 年 11 月 16 日
撮影者	富士写真フイルム 株式会社
備考	



# 矢内原忠雄文庫

封筒番号：273

史料名	恩賜財団奨學會『日の光』第一號 大正十四年一月二十六日發行
資料形態	四六版冊子
枚数	19
頁数	38
縦 (cm)	18.8
横 (cm)	12.8
厚さ (cm)	
書誌的事項	南洋  今泉分類記号：P







370.5  
H61  
1

日 光 の 第 一 號 目 次

□ 口繪 南洋廳と横田長官	○ 日本兒童の文…… 惠 雨…… 三七
□ 日の光發刊趣旨	○ 何を見ても思ひ出す…… 二七
□ 訓 辭 …… 横田長官 …… 二	○ りんご …… 二六
□ 訓話 ニツノ寶物 岡田與助 …… 三	○ 思ひ出 …… 二九
□ 南洋群島國語讀本 蘆田惠之助 …… 五	○ 最後ノ日 …… 三〇
□ 郵便局 …… 通信 課 …… 七	○ オトウサン …… 三一
□ オ話 ナカナオリ 小栗 梢 …… 九	○ オカアサン …… 三一
□ 觀光園日誌 …… アルデヤロウル …… 四	○ 満足スル生活 …… 三一
	○ 足の跡 …… 三一



南洋廳と横田長官



日本ノ皇太子殿下ヲサクネンノ一月二十六日ニゴケッコンアソバサレマシタ。此オメデタイ日ニ  
 殿下ワソノオヨロコビヲコノ南洋群島ノ子供ヲチニモオワカチニナルオツモリデ子供ヲチガ、タノシ  
 ク、ヨクベシキヨウガデキルヨウニセヨトオシサテソノタメニ使ヲオ金ヲ下サイマシタ。  
 南洋羣島ノチウカンヤ、ナイムブチウガドウユフヨウニシタラ子供ヲチガタノシクマクヨクベシキ  
 ヲウガデキルカラゴソウダンナサツタスエ、「シウガカカイ」トイウカイガデキテソノカイガコレカラ  
 イロノミナサンガタノタノシクベシキウスルノニツゴウノイイヨウナシゴトヲスルコトニナリマ  
 シタ。ソノタクサンノシゴトノ一ツトシテコノザツシヲ一年ニ二度ダシテミナサンニアゲル事ニシマ  
 シタ。  
 コノザツシニワタメニナル事ヤオモシロイオ話ヤミナサンノシラナケレバナライ事ガ書テ有マス  
 ソノホカミナサンノヨクデキタワヅリカタモダシマス。  
 ミナサンワ朝ヲ學校ヘ行ッテヨク先生ノオシキル事ヲ聞キ家ニカヘツテカラコノザツシヲヨムトシ  
 ラナイウチニイロノコトガオボエラレマス。モノヲオボエル事ワソノ人ガソレダケエラクナル事  
 デス。ミナサンガヨクベシキウシテエライ人ニ成レバ  
 皇太子殿下ヲオヨロコビニ成リマス  
 皇太子殿下ガコノ選イノ南洋ニ住ンデ居ルミナサンノ事マデイツモゴシンバイニ成ツテヨクベシ  
 キウシテエライ人ニ成ルヨウニオノゾミニナッテイラッシャル通リニナッテ、ヨロコソデ  
 ミナサンワヨクベシキウシテ皇太子殿下ノオノゾミニナッテイラッシャル通リニナッテ、ヨロコソデ  
 イタダカナケレバナリマセン。



訓辭

南洋廳長官 横田郷助

皇太子殿下御成婚の記念として 天皇陛下からの御下賜金を基礎に、この奨學會をおこしました。之について島民諸氏に一言のべておきたいことがあります。

島民諸氏は、既に今日の世界が、日に月に進歩していることを知っています。もしこの進歩におくれたら、人間として生をうけたかゝりありません。ところが南洋は大洋中に點在して、交通が不便であつたがために、世界の文化におくれた例がありません。日本がこの諸島を統治するようになつてから、力を教育に用いているのわ、世界の進歩においつかせようといふためです。

南洋の文化をすゝめる第一歩は、島民諸氏が國語に熟達することです。私が今こゝに述べている事々らしいわ、誰にも十分に理解が出来なければなりません。國語が世界の文化に接觸するなかたちで、これを外にしてわ、全くその道がありません。諸氏が最善の努力を國語の修得にそゝがなければなりません。これはただ公學校の生徒にばかりのぞむのでありません。島民の若男女、誰でもそれを心がけなければなりません。今度國語讀本の木利用を修正し、補習利用を新たに編纂して發行することになりました。公學校の生徒は、いふまでもなく、他の島民諸氏も之を學習して、常識を高めることにとめなさい。高い學問も、この低い足もとから研究しはじめのが順序です。

しかし國語を學ぶのわ、讀んだり、書いたり、話したりするためばかりではありません。讀む事柄、書く事柄、話す事柄について學び、深く考え、さらに之を南洋にひきあてて、發達の基をつくらなければなりません。これが國語を學ぶほんとうの意義です。島民諸氏、眞の意義で國語を學び、眞の意義で南洋文化の基をつくるようにとめなさい。終りに島民と内地人とをわす、この意味が島民に正しく深く會得せられるように、特に御盡力が願ひたいと思ひます。

二ツノ寶物

岡田興助

南洋群島ニワ二ツノ大キナ寶物ガアリマス。一ツワ椰子ノ木、一ツワ公學校卒業生デアリマス。卒業生トユウ寶物ワ役所ノ方々モ學校ノ先生方モ村ノ人ダチモミンナデ大切ニシテイマス。ナゼデシヨウカ。ソレワコノ群島ヲゴクタクノヨウナリツバナタノシイ所ニスルノモデゴクノヨウナクルシイ、イヤナ所ニスルノモミナサシ卒業生ノヤリカタ一ツデキマルカラデアリマス。

ミナサンガ色々ノキソクヲヨクマモリ、先生方ニオシエテイタマイタコトヲソトウリオコナヒ、ツシテ村ノ人ダチヲ大事ニスルナラバコノ群島ヲホントウニヨイトコロニナルデシヨウ。今ワ學校ノ卒業生ヲ二千人以上ニナツテイマス。コノ二千人ノ卒業生ガ心ヲソエテイツシヨウケンメイニヤルナラバドンナコトデモデキマス。

ソコデコノヨウナ大切ナツトメヲモツテイイルミナサン卒業生ワイツモ『私ワ卒業生デアアル』トユウツヨイ考ラモツテイナケレバナリマセン。何か悪い考ノ出タ時、マチガツタオコナイラヤリソウナ時ニワ『私ワ卒業生デアアル』ト一コエタカクサケンデツマラス考ヲフキトバシテマチガツタコトヲセヌヨウニシナケレバナリマセン。人ワボンヤリシテクラスノト一ツノ考ヲモツテクラスノトデワタイヘンナチガイデス。道ヲアルクニモボンヤリシテイルト一年モ二年モ同シ道ヲ通ツテアルイテイナガラリヨウガワニ椰子ノ木ガ何本アルカ、家ガ何ゲンアルノカワカルモノデワアリマセン。ケレドモ、今日ワ一ツ椰子ヲカゾエテヤロウ家ヲカゾエテヤロウトユウ考ラモツテアルケバ一ベンデ椰子ヲ何本家ワ何ゲントスツカリワカリマス。コレト同ジヨウニミナサンモ仕事



ヲスルニモベンキヨウスルニモ『私ヲ卒業生デア  
カラシツカリヤラナケレバナラス』トユウツヨ  
考ラモツテヤルナラバ、カナラズリッパナシゴト  
シツカリシタベンキヨウガ、デキルノデアリマス。  
世ノ中ニ『時カヌ種ヲ生エヌ』トユウコトワザガ  
アリマス。マツタクソノトウリデ種ヲマカナケレバ  
ナスモキウリモハエルモノデアリマセン。トコロ  
ガ私ヲ南洋ニキテナガイアイダ學校ニ出テ生徒ヲオ  
シエ、又ソツギヨウセイノスル事ヲ見テイルウチニ  
『時イタ種モ生エヌ』ト云フコトニ氣ガツキマシ  
タ。ソレワドシナコトカトイウト學校ニイル時ニ生  
徒ニ時イタチエヤ日本語ヲイオコナイノ種ワソツ  
ギヨウシタラサダメシメヲ出シキヲノバシエダヤ  
ハラシゲラシテ美事ナ大木ニナルゲロウトヨロコン  
デマツテイルトナカナカメガ出テキマセン、エダモ  
ハモデテキマセン。シンバイデスカラ中ヲホツテミ  
ルトマイタ種ワクサツテシマツテイルノデアリマ  
ス。マコトニザンネンナコトデアリマス。コレワセ

ツカクマイタ種ニ水ヲヤリコヤシラクレルコトヲミ  
ナカウタメデアリマス。ミナサン。コノナカマニ  
ナツテワイケマセン。ドンナニデモシテ學校デア  
テモラツタヨイ種ヲハヤスヨウニ心ガケナケレバ  
リマセン。エダヤハラシゲラシテリッパナ大木ニナ  
ラナケレバナリマセン。ソレニワフダンカラツギノ  
ヨウナコトヲ心ガケテイナケレバナリマセン。  
學校ヲ卒業シテモナルダケタビタビ先生方ノ所ニ  
アソビニ行クコトデス。ソシテオハナシヤキカシテ  
モラツタリジブンノコトヲオハナシタリスルノデ  
ス。コレガマイタ種ニ水ヲヤルノトオナジコトデ  
ス。又デキルダケ日本ノ人ノトコロニ行ツテハタ  
ク事デス。村ニイテモアソシナイデ何デモヨ  
カラ仕事ヲ見ツケテハタラクコトデス。コレハマイ  
タ種ニコヤシヤルコトデス。仕事ヲスルトユウコ  
トワ一バン大事ナコトデス。『流レヌ水ワクサレル』  
ゴランナナイ流レナイデヂツツシテイル水ワ出ガワ  
イタリゴミガタマツタリシテクサレルデアリマセ

ンカ。アナタガタモハタラカズニヂツツシテイルト  
コノ水ノヨウニクサレシマイマス。ハタラキナサ  
イ。ソシテイツモサラサラトナガレテイル川ノ水ノ  
ヨウナキレいな人ニナリナサイ。人ニウマレテシ  
ワセナコトワハタラクコトデス。世ノ中ノヤクニ  
ツコトデス。クワヲトツテハタラキナサイ。ナイフ  
ヲフリ上ゲテハタラキナサイ。テオノヲモツテハタ  
ラキナサイ。ソノ時流レテ出ルアセワダイヤモンド  
ヨリモタツトイモノデス。『マジメナ人ニナロウ、ヤ  
クニタツ人ニナロウ』コノ考ワミナサンノチヨツト  
ノマモワスレテワナラヌコトデアリマス。

南洋群島國語讀本

○ 私は南洋群島の委囑によつて、南洋群島のおさな  
島民諸子が讀まれる、國語讀本の本科用三冊と、補  
習用二冊を作りました。大正十四年四月から使用

芦田惠之助

○ することになりますから、この「日の光」と前後し  
て、皆さんをそれをごらんになる事と思ひます。そ  
こで私も一言御注意申しておきます。



何でも物の新しくなつた時は、教えるにも、學ぶにも、困難を感じるものです。第一その物に親しみがありません。見おぼえもなければ、聞きおぼえもありません。繪も、字も、書いてある事柄も、すべてが新しいのですから、珍らしい、目さきのかわる面白みもあつても、學ぶ苦しみ、おぼえるほねをりが一面にあります。これは私が朝鮮の國語讀本を編纂して、親しく見て来たことです。そこで一年か二年は、むずかしいとか、めんどうだとかいふもんだくをぬきにして、この讀本と首引をするつもりで、愛し、親しみ、くりかえして讀み、くりかえして考へていたゞきたいと思ひます。

二年か三年たつても、どうしてもむずかしかつたら、適當な人を選んで、作りかえたらよろしい。その時二年だまつて、この讀本を愛し、親しみ、讀み、考へて下さつた人の御注意が、南洋の國語讀本を完成する上に、大なる参考になるのです。私も

南洋の諸島民諸氏に親しく接したということもなく、わずかにサイパンヤツパオを見て歸つたばかりですから、到底、自分の思う半にも及ばず、自分ながら物足らぬ感があります。定められた金で、なるべく立派なものを、限られた時間で、なるべくまとまつたものを、たゞい力は足りなくても、盡す力は及ぶかぎりをお考へてはたきました。よしが上にもよいようにといひましたが、南洋の東まはりをすら知らず、公學校の教壇にたつたことのない私にわ、これを最善の讀本だと斷言する自信がありません。そこをお讀みになる方や、お教へになります方が、新讀本の美點を發見して、南洋最善の讀本として活用し、習得して下さい。そうして下さいればそれは私の功でわなくて、讀む人教える方の力と申すものです。人間の作つたものに、完全などいふ事はありません。不完全なものを完全にしてつかふのが、人間のたらしきというものです。

讀んで下さい。くりかえして讀んで下さい。日本人は千幾百年の昔に、支那の文章即ち漢文を讀んで讀んで、讀みぬいて、ついに國語で讀みくずしてしまいました。南洋の島民諸君もそのように新讀本をお讀み下さい。讀みよく通じるもので、意義がわからなうといふことはありません。大正十四年と十五年は、補習科生は本科の一二三冊をも讀むようにして下さい。今までの國語讀本を讀んだ力では、補習讀本は少しむずかしいかと思ひます。本科三年生は一年二年用の二冊を、二年生は一年用の一冊をぜひあわせておよみになるように願ひます。

南洋では讀物を求めることが容易ではありません。しかし字がよめ、言葉がよくわかるようになって、

郵便局

先生「アナタワ、ヨク、ユウビンキヨクノコトニ


讀物がないのは、はらがすいた時に食物がないのと同じです。そこで私は島民諸氏に、一つののぞみがあります。それわ公學校用の讀本五冊は、學校を卒業した後にも、大切にしまつておいて、時々それを讀むようにしていただくとうぞんじます。その點は私の特に工夫したことです。ことに補習科用の二冊の中には、年をとつて讀めば讀むほど、面白くなるような事柄をたくさんとつておきました。面白くなるか、ならないか。私もしんげんで作つたものですから、島民ことに公學校の卒業生は、つとめて之を讀んでみて下さい。

新讀本について、他日島民諸氏をはじめ、指導の任にあたらるゝ教育家諸氏に、親しく御示教があおぎたいと思ひます。

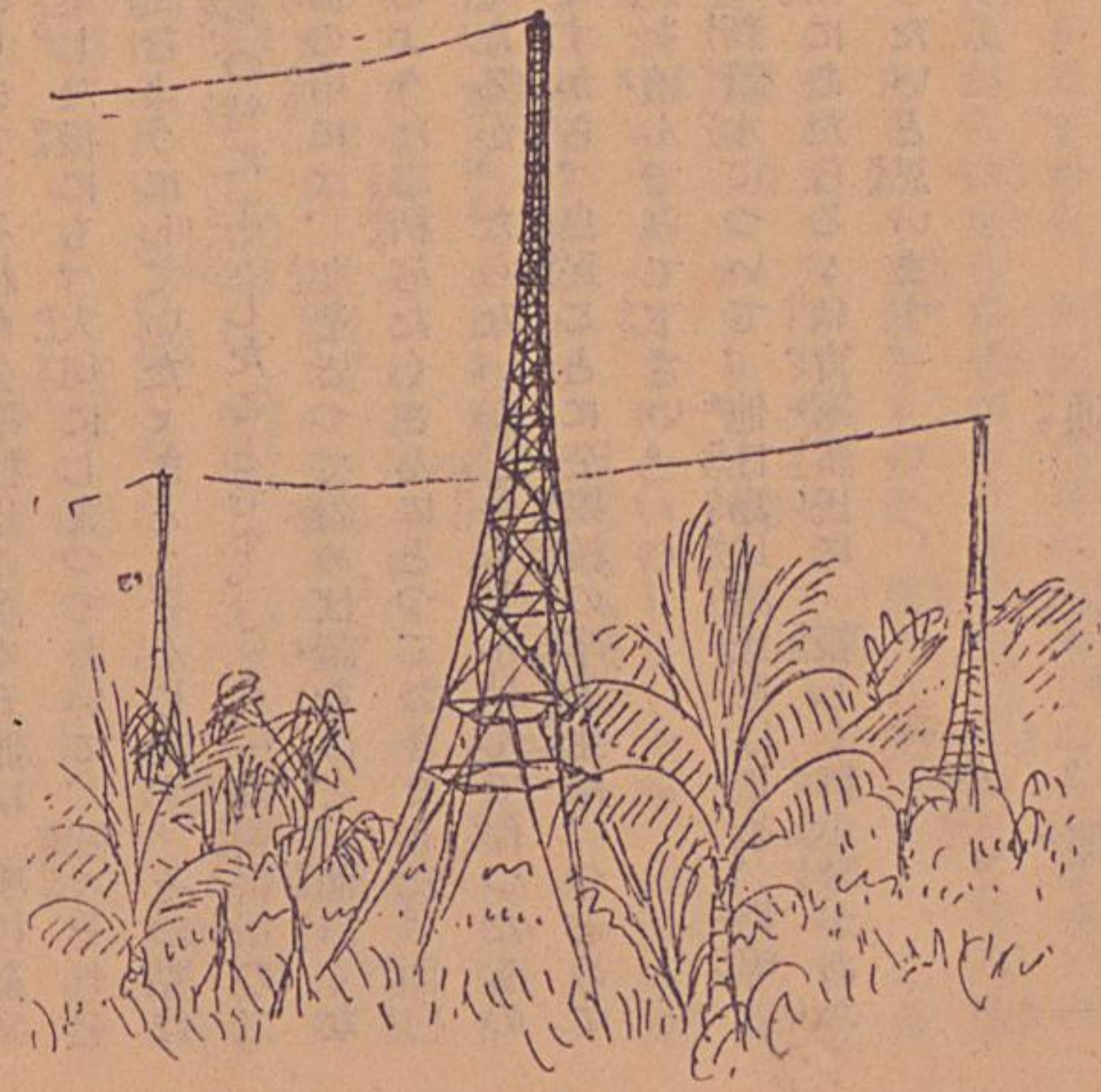
通信課

オキガツキマシタ、人間ノクラシガ、ススンデ、シ



ゴトガ、オオクナルホド、ユウビンヤ、デンボウオ  
ツカウコトガ、オオクナリマス。ヒラケタクニデワ  
イマ、モシ、ユウビンヤ、デンボウガ、ナクナツタ  
トスルト、タイソウ、フベンニナリマス。チヨウド  
ビルノタイヨウガ、キエテ、ヨルノヤミニ、ナツタ  
トオナジデス。コノタイセツナ、シゴトオスルヤク  
シヨガ、ユウビンキヨクデス。ゴランナサイ。ソラ  
ニ、タカク、ハリガネヲ、ハツタ、テツノトウヤ、  
ボウガタツテイルデシヨウ、ソレワ、ムセンデンシ  
ンノ、シカケデ、ソノシタニアルイエノナカノ、キ  
カイデデンキオ、オコソノデンキデ、シルシオオ  
クルト、ソノハリガネカラ、デンキノナミガ、クウ  
キニツタワツテ、トウキヨウマデモ、一分モタタ  
イウチニ、トドキマス、マタユウセンガイシヤノフ  
ネガ、ミナトニハイルトキ、ホバシラニタカク、コ  
ンナ。  ハタガ、ヒラヒラシテオリマスカラ、  
キオツケテゴランナサイ、コレワユウビンブツオ、  
ツンデイルシルシノハタデス。ユウビンブツワ、ホ

カノニモツヨリモ、サキニオロサレマス。コノフネ  
ガミナトヲデルニモ、ユウビンブツオツマナケレバ



デマセン。ユウビンブツオ、ツンダ、フネヤクルマ  
ノユキキヲ、ジヤマスルト、オモクバツオサレマ  
ス。

生徒ラナ「ソレデワ、ユウビンキヨクワ、ナンヨ  
ウグントウニイクツアリマスカ」。  
先生「イマワ、ナンヨウグントウチユウデ、サイ  
バン、バラオ、ヤツデ、トラック、ボナベ、ヤルノ  
トノカクシマノ、シチウノアルトコロト、アング  
ウルトウノ七ツデス」。  
生徒デール「ワタクシノ兄サンワ、ナイチニ、コ

ナカナオリ

ムカシ日本ノクニニ二人ノキョウダイノカミサマ  
ガイラシイマシタ。アニガミサマヲウミサチヒ  
コ、オトウトガミサマヲヤマサチヒコトイイマス。  
ウミサチヒコワウミニデテ、ウオラトルコトガ、  
タイソウジヨウズデ、ヤマサチヒコワ山ニイツテ、  
トリヤケモノヲトルコトガタイソウジヨウズデシタ  
アル日ウミサチヒコワヤマサチヒコニ

ノマエノヤワタ丸デ、ガツコウニハイリニ、ユキマ  
シタカラ、兄サンニ、デガミデ、ウチノコトオ、ジ  
ラセテヤリタイノデスガ、ドウスレバ、ヨイノデス  
カ、オシエテ下サイマセンカ」。  
先生「ナルホド、ケツコウナコトデス、ソレデワ  
コレカラ、ユウビンノハナシオ、ミナサンニイタシ  
マス」。(ツツク)

小栗 梢

「キヨウワワタシノツリザオト、オマエノユミトト  
リカエテ、ワタシワ山エ行キ、オマエワ海ニ行ツテ  
ミチラガエモノヲタグサントツテクルカ一ツウデク  
ラベヲシヨウデワナイカ」。  
トイヒマスト、ヤマサチヒコモ  
「ソレワオモシロイ」。  
トイツテサンセイシマシタ。ソコデ二人ワツリザオ  
トユミトトリカエテ、一人ワ山エ、一人ワ海エ行キ



マシタ。

山<sup>ヤマ</sup>エイツテミルト、シカヤウサギヤハトヤキジガ  
タクサンイルノデ、ウミサチヒコワタイソウヨロコ  
ビマシタ。ソシテユミニヤヲツガエテイテミマス  
ト、ヤワアタラナイデトリヤケモノワニゲデシマイ  
マス。イクタビイテモ一ツモアタリマセン。アサカ  
ユフガタマデ山<sup>ヤマ</sup>ノ中<sup>ナカ</sup>ヲカケマワリマシタケレド  
ビキモトレマセン。ソシテタクサンモツテイウタヤ  
モミンナナクナツテシマイマシタ。ウミサチヒコワ  
ガツカリシテウチエカエリマシタ。

ウミニイウタヤマサチヒコモオナジコトデシタ。  
アサカラユフガタマデ、カイガシラアチラニイウタ  
リコチラニキタリシテツツテイマシタガ、エサヲト  
ラレルバカリデ、ウオワ一<sup>ツツ</sup>ビキモツレマセン。ソレ  
バカリデナク、オシマイニワ兄<sup>イイ</sup>サマノタイセツナハ  
リヲトラレシマイマシタ。

ヤマサチヒコワタイヘンシンバイシテウチエカエ  
デキマシタ。ソシテウミサチヒコニハリヲナクシ

タコトヲハナシテアヤマリマシタガ、ウミサチヒコ

ワタイソウオコツテウシテモユルシテクレマセ  
ン。ソコデヤマサチヒコワ五百<sup>イヒツ</sup>本ノハリヲコシラエ  
テ兄<sup>イイ</sup>サマニアゲヨウトシマシタ。シカシウミサチヒ  
コワソレデモユルシマセン。

ヤマサチヒコワシカクマタカイガンニデテ、  
アチラコチラアルイテイマシタ。モウアタリマツク  
ラデ、キシウチヨセルナミノカシラガシロクミエ  
ルバカリデス。

ヤマサチヒコワトウク<sup>ウ</sup>タビレテ、イワニコシ  
カケテヤサンデイマシタ。スルトソコエドコカラキ  
タノカ、カミノケモヒゲモマツシロナオチイサンガ  
アワレマシタ。ソシテヤマサチヒコニ「ドウシタ  
ノカ」トタズネマシタ。ヤマサチヒコワ、兄<sup>イイ</sup>サマ  
ダイジナハリヲナクシタコトヲハナシマシタ。スル  
トソノオチイサンワイイマシタ。

「ソレワオキノドクナコトダ。ワタシガヨイコトヲ  
オシエテアゲヨウ」。

ソシテ目<sup>メ</sup>ヲツブツテ何<sup>ナニ</sup>カ口<sup>クチ</sup>ノ中<sup>ナカ</sup>デイイナガラウエ  
デチメンヲタタクト、ソコエ大<sup>オホ</sup>キナフルイカゴ<sup>ゴ</sup>出<sup>デ</sup>  
マシタ。

「サア、コレヲウミニウカシテソノ上<sup>ウラ</sup>ニオノリナサ  
イ。ソウスルト、アナタヲウミノカミサマノトコロ  
エ行<sup>イ</sup>クコトガデキマス。ウミノカミサマワキツトハ  
リヲサガシテ下<sup>シタ</sup>サルニチガイナイ」。

ソコデヤマサチヒコワオチイサンノイウタトウリ  
ニシマシタ。スルトダンノマツクラナフカイウミ  
ノソコヘンズンテ行<sup>イ</sup>キマシタ。

シバラクスルトアタリガアカルクナツタノデ、目<sup>メ</sup>  
ヲアケテミルト、ソコワウミノカミサマノゴテンノ  
門<sup>カド</sup>ノマエデス。ヤマサチヒコワソノ門<sup>カド</sup>ノ戸<sup>ド</sup>ヲアケヨ  
ウトシマシタガ、ドウシテモアキマセン。ソノウチ  
ニ中<sup>ナカ</sup>カラダレカクルヨウナオトガシマシタノデ、ヤ  
マサチヒコワイソイデ門<sup>カド</sup>ノソバノ大<sup>オホ</sup>キナ木<sup>キ</sup>ニノボツ  
テエダハノカゲカラノゾイテイマシタ。スルトンズ  
カニ門<sup>カド</sup>ガアイテ、中<sup>ナカ</sup>カラ金<sup>カネ</sup>ノツルベラモツタキレ

ナオヒメサマガ二人<sup>フタリ</sup>出<sup>デ</sup>キマシタ。ソシテダンノ  
木<sup>キ</sup>ノ下<sup>シタ</sup>ノ方<sup>カタ</sup>ニクルノデ、ドウスルノカトオモッテイ  
ルト、二人<sup>フタリ</sup>ワ木<sup>キ</sup>ノ下<sup>シタ</sup>ノイドエキマシタ。ソノトキオ  
ヒメサマクチワイドノ中<sup>ナカ</sup>ヲミテビククリシマシタ。  
ソレハイドノ水<sup>ミヅ</sup>ニヤマサチヒコノスガクガウツテ  
イタカラデス。ヤマサチヒコモビククリシマシタ。  
スルト大<sup>オホ</sup>キイ方<sup>カタ</sup>ノオヒメサマガイイマシタ。

「アナタワドナタデスカ」。  
「ワタクシワ日本<sup>ニッポン</sup>ノヤマサチヒコデス」。  
スルト二人<sup>フタリ</sup>ノオヒメサマワオドロイテ

「オ、アナタガヤマサチヒコデスカ。アナタワタ  
イソウユミライルコトガオジウズダトユウコトヲ  
キキマシタ。サア、ドウゾワタクシタチトイッショ  
ニイラシテ下<sup>シタ</sup>サイ」トイイナガラ、サキニ立<sup>タ</sup>ッテオ  
トノゴテンニ案<sup>あん</sup>内<sup>ない</sup>シマシタ。

ウミノカミサマワヤマサチヒコヲミテ、タイソウ  
オヨロコビニナリマシタ。ソシテ「ドウシテコンナ  
トコロエオイデニナリマシタカ」トタズネマシタ。



ソコデヤマサチヒコガ、兄サマノハリヲナクシタコトヤ、カイガンデンシラガノオヂイサンニアツタコトヲハナシマス、ウミノカミサマワスグケライニイイツケテ海ノウオヲノコラズヨビアツメサセマシタ。

「ゴテンノオニワワイロ、ナウオタチデイツパイニナリマシタ。ウミノカミサマワタカイエンガワニオデマシニナッテ、オオシラベニナリマシタガ、ハリヲトツタモノワドウシテモワカリマセン。ソノトキタコガカミサマノマエニデテ

「今日ワタイガビ、ウキデヤスンデオリマス」トモウシアゲマシタ。スルトカミサマワ

「ビ、ウキデモカマワズツレテコイ」トオツシャイマシタ。ソコデタコワスグゴテンヲ出デイッテ、タイヲツレテキマシタ。タイワアオイカオラシテ、タイヘンクルシソウナウオウシテヤッテキマシタ。ソシテカミサマガ「ドウシタノカ」トオタズネニナルト、小サナコエデ

「ノドニハリガササリマシタ」

トコトヘマシタ。ソコデタコガタイノノドニ手ヲ入レテトリ出シテミルト、ソレワヤマサチヒコガナクシタハリデシタ。ヤマサチヒコワタイソウヨロコビマシタ。

ソレカラウミノカミサマワヤマサチヒコワリッパナヘヤエツレテイッテ、ソコデイロイロナゴチソウラシタリ、オモシロイ海ノオドリヲミセタリシマシタ。ソレカラ三日ノ間ヤマサチヒコワマイ日ウミノゴテンデオモシロククランシマシタ。ソシテ

「兄サマガマッテイラッシャルカラ、モウカエリマス」トユウト、カミサマモオヒメサマヲチモタイソウナゴリヲオシンデ、カタミニ二ツノタマヲ下サイマシタ。ソレワ「ツワミチンオノタマ、一ツワヒシオノタマトユウノデス。」

ヤマサチヒコガカエツテキタノヲミルト、ウミサチヒコワタイソウビツクリシマシタ。ソウシテイイ

マシタ。

「オ、オマエワマダイキテイタノカ。ワタシワモウオマエガシタゴトトオモッテイタ。アレカラチヨウ下三年ニナル。」

「兄サン、ナニヲオツシャルノデス。マダ三日シカタチマセン。」

「イヤ、オマエワ海ノゴテンニイテ、月日ノタツノヲワスレテイタノニチガイナイ。」

ソレカラヤマサチヒコワウミノカミサマノゴテンノオハナシヲシマシタ。ソシテタイノ口カラ出タハリラ兄サマニカエシマシタノデ、ウミサチヒコワマタビツクリシテシマイマシタ。

三

オトウトノヤマサチヒコワタイソウ心ノ事シイヨイカミサマデシタガ、兄ノウミサチヒコワヨクノフカイ、ソシテイヂノワルイカミサマデシタ。ソシテシマイニウミサチヒコワオトウトヲコロシテ、ソノクニヤケライノ人マデジブンノモノニシウトユウ

ワルイカンガエヲオコスヨウニナリマシタ。

アル日ヤマサチヒコガニワフサンボシテイルト、ソコエ一人ノケライガカケテキテ「タイヘンデゴザイマス。タダイマウミサチヒコサマノヘイタイガ何千人トモシレナイホドセメヨセテマイリマス」トモウシアゲマシタ。スルトヤマサチヒコワスコシモサワガス、

「ヨロシイ。ソレデワ、オマエヲチワコレカライソイデ、國中ノモノニ、ウシロノ山エニゲルヨウニ知ラシテマワリナサイ。ワタシモ山エ行クカラ」

トオツシャイマシタ。ヤマサチヒコガ國中ノ人々ヲツレテ山エオニゲニナルトマモナク、ウミサチヒコノヘイタイガセメテキテ、ハタケヲアラシタリ、家ヲヤイタリシテ、ソレカラ山ノ方エオシヨセテキマシタ。

山ノ上カラソレヲミテイラシタヤマサチヒコワ、ウミノゴテンデイタダイトミチンオノタマヲヒタイニアテテ何ゴトカオイノリニナリマシタ。スルト、



フシギヤ、ドコカヲトモナク大ナミガオシヨセテキ  
テ、山ノ下マデ海ニナツテシマイマシタ。ソレカラ  
コンドワ、ヒシオノタマヲヒタイニアテテオイノリ  
ニナルトソノ大水ガドコエトモナク行ツテシマツテ  
ウミサチヒコノヘイタイハ一人モナクナツテシマイ  
マシタ。

ウミサチヒコワソノコトヲキクトタイソウオコツ  
テ、コンドワジブンデヘイタイヲウレテセメテ行キ  
マシタ。トコロガマタ大水ガ出テ、アブナク死ニソ  
ウニナリマシタ。ソノトキヤマサチヒコガヒシオノ  
タマヲモツテオイノリニナツタノデ、ウミサチヒコ  
ワ死ナナイデスミマシタ。ソシテヤマサチヒコノゴ  
テンニハコバレテソコデシバラクヤスンデイマシタ

### 觀光團日誌

第三回内地觀光團員第三班長

アルデヤロウル

コノ日誌ハ大正十三年ノ夏内地ニ觀光ニ參リマシタバラオノ公學校卒業生アルデヤロウル君ノ書イタモ  
ノデ、一三ノ誤ヲ正シタ外ハ原ノママデゴザイマス。(編者)

(一九二四、一一、一〇)

七月十八日 ハレ

カンコウダンミンナマダライノハトバニアツマツ  
テミオクリニキタ人ニアイサツヲシテランチニノリ  
ナガラカナシクナツテナミダガコボレル。ソレカラ  
フネエキテニモツラアゲタリカタツケタリシマシタ  
カラ大ソウイソガシイコトトオモツテミンナガココ  
ロボソクナリマシタ。ソレカラフネガシツパンシタ  
トキニチウドゴゼンノ十一ジゴロデシタ。ソレカ  
ラフネノ中デクルシクナツタ人ガヒトリモゴザイマ  
セシタ。ミンナゲンキデアソビマシタ。

七月十九日 クモリ

私チハアマリアツクナツテタマリマセンカラ  
ウエエアガッタリシタエオリタリシテイマシタ。ソ  
レカラヨガアケタジブンニミンナガヤッブワチカ  
クナツクトオモウタラアガツテミルトナニモナクナ  
ツテウミノミズバカリアオノトシデドコマデモツ

ツイテイマシタ。ソウシテカオアラツテアサハン  
ヲタベデカラアンナイシテクダサルオカクガタワ九  
ジニツナタラバヤッブワミエルトオツシャイマシ  
タ。

ソウスルト九ジノカネガナツタトキニミンナアガ  
ツテミルト一バンタカイヤマガデテキマシタ。ソレ  
カラ大ソウヨロコシデキレイナキモノヲキテソウシ  
テフネノタカイトコロエアガツテミマシタ。ソレカ  
ラミナトエツイタノワゴゴノ一ジゴロデオカエアガ  
ロウトシマシタガアンナイノヤクニンハ四ジニフネ  
ガシツパントオハナシニナリマシタカラ一人モア  
ガツタ人ハゴザイマセンデシタ。

七月二十日 アメ

アサハヤクオキテカオアラツテアサハンヲタベ  
デフクヤマサンガキテビウキニナツタ人ワゴザイ  
マセンカ又フネニヨツタ人モゴザイマセンカトタズ  
ネマシタ。ソレカラミンナノウチデビウキニナツ



夕人モヨワツタ人モゴザイマセントモウシマシタ。  
フクヤマサンワソレデワヤツブカラサイバンマデワ  
三日カカリマスカラソコマデニカラダヲタイセツニ  
シテワルイビヨウキニカカラナイヨウニヨクキヲツ  
ケナサイトオッシャイマシタ。ソレカラミンナガヨ  
ウゴザイマストイッテフネノ一バンサキノタカイト  
コロエアツマッテセケンバナシマシタ。

七月二十一日 夕モリ

アサハンヲタベタアトデナニモオモシロイヨウナ  
事ガゴザイマセンデシタカラフクヤマサンガカワイ  
ソウニオモッテフネノテクオンキヲカリテキテミン  
ナガウレシクナッテイッシニトコロニアツマッ  
テナラシテキキマシタカラ大ソウウレシユウゴザイ  
マシタ。ソレカラユウハンヲタベテキモノヲキテソ  
レカラタイヘンヨロコシデ日本ノ人トイッシニ  
ソゾ人モアルシ又バラオノ事ヲオモイグシテアサカ  
ラバンマデアソバナイデネテバカリイル人モアリマ

シタ。

七月二十二日 ハレ

アサノ七ジニサイバンエツイテジヨウリクシテミ  
ンナガ大ソウヨロコシデイロナミセヤウチヤジ  
デンシヤハタライテイルウシヤ其ノホカイロ  
ナモノヲミマシタカラ大ソウウレシユウゴザイマシ  
タ。ソレカラ二ジカンノアイダデケンブツシテヤク  
シエゴアイサツヲシテシバラクノアイダヤスンデ  
フネへ行キマシタ。ソウシテヒルハンヲタベテカラ  
ミンナアツマッテイロイロナオハナシマシタガ  
バラオノタメニナル事ヲミタガアルシ又アニモミ  
ナイ人モアリマシタ。ソレカラミンナガコンナバラ  
オヨリソツバナ島ヲミタノ南洋チヨウヤシチウ  
ヤソノホカヤクシヨウエライオカクノタメデミンナ  
其ノゴオンラシウワスレナイヨウニシマシウ  
トミンナデハナシマシタ。

七月二十三日 ハレ

アサオキタトキニヒロイウミノ中ニ小サナ島ガ一  
ツ見エマシタカラカンコウダンノ人ヲチワタイヘン  
ヨロコビマシタ。ウラカストユウ島ワケムリヲダシ  
テイマシタ。ソノ島ノケムリハ五フンカトブンゴト  
ニダスノデシタ。私タチニワタイヘンメヅラシイケ  
シキデシタカラミンナワデッキノ上ニデテヨルニナ  
ルマデ見テイマシタ。ヨルニナルトマツクラナウミ  
ノ中ニアル小サイ島ノ上ノホウニアカイ火ガトキド  
キ見エマシタ。其ノ火ハ山ヲナガレオリルトキ赤ク  
見えマシタ。コレワバラオデワ見ル事ノデキナイア  
マリメヅラシイケシキデシタカラナガク見デオリマ  
シタ。

七月二十四日 ハレ

ミンナアマリナガクフネニノッタコトガゴザイマ  
センカラフネリアキテキマシテバラオカラムotteキ  
タタベモノハナクナルハラガヘッテコマリマシタ。

バラオニイタラナンデモタベルノデスガフネノ中デ  
スカラタベルモノガナイノデコマリマシタ。其ノカ  
ワリ事務長ガヨルノオソイトキニニギリメシヲタク  
サンコシラエテクダサイマシタカラソナニハラガ  
ヘリマセンデシタ。

七月二十五日 ハレ

朝ハヤクオキテモウオガサワラガミエルカトマッ  
テイイルウチニ見エテデキニツキマシタ。ソレカラミ  
ンナノ人トジヨウリクシマシテケンブツシマシタラ  
ジツニタクサンノミセガアリマシテバラオニナイモ  
ノモアリマシタ。サイバン島ヤヤップ島ヤバラオ島  
ヨリマサッテイイルノニワカンシンシマシタ。ミンナ  
ガバラオニカエッタナラコレトオナジヨウニエラ  
タテタイトオモッテオリマシタ。又ミチヤニワノク  
サガタイヘンリッパニデキテオリマシタカラバラオ  
ニカエッテキマシタナラコレトオナジヨウニコシラ  
エヨウトミンナガハナシテカエリマシタラジキニフ



ネガ日本ニムケシユッパンシマシタ。

七月二十六日 ハレ

今日ワビジウニウレシク日本ニツイタヨウナコ  
コロモチガシテニモツラカタツケタリシテハヤク日  
本ノトチガ見タクテナリマセン。サダメシ日本ノト  
チヲ見タナラバカンコウダシノミンナノ人ガオドロ  
クデアロウトオモイマス。明日ワ日本ノトチガ見エ  
ルトユウコトヲキキマシテナシダカミナサシガオソ  
クマデネラレマセン。フネノ人ノオハナシデウアス  
ノアサオキタナラフジノ山ガ見エルトユウ事ヲキキ  
マシタ。

七月二十七日 クモリ

今日ワフネノ人ノオハナシデハ五ジゴロニヨコハ  
マニツキマストユウ事ヲキキマシテヒジウニウレ  
シユウゴザイマシタ。サダメシ日本ノミナトヲ見タ  
トキニダンカンヤホカケブネヤランチャ其ノホカイ

ロ／＼ナフネガダタリハイツタリシテアリマシタカ  
ラカンコウダシノ人ガアマリリッパナトコロダトイ  
テホメマシタ。ソレカラサンバシニオリテナガメ  
テイマシタガ南洋ヨリズットマサツテオルノニワオ  
ドロキマシタ。ヤドヤエマイリマシタトキニナンダ  
カオドロクヤウナココロモチガシテゴハンヲヨケイ  
ニタベル事ガデキマセシデシタ。ソコデシバラクヤ  
スシデキシヤデトウキヨウエフホリマシタ。

七月二十八日 ハレ

アマリツカレテイマシタカラキジマサントイタガ  
キサントフクヤマサントニヤスマセテモライマシタ  
カラヨソエケンブツニ行キマセシデシタ。タダイマ  
ハンセイカシノイリグチカラノゾイテ見マシタガジ  
ドウシヤウマヤケタルマナドガハシツテイマシタカ  
ラミンナガナンダカキチガイヲヨウナココロモチデ  
シタ。

七月二十九日 ハレ

ケンブツノトキデシタカラミンナゲンキエキモノ  
ヲキテキジマサンカライロ／＼ナアブナイ事ヲオッ  
シヤツテモライマシタ。ソレカラデンシヤニノッテ  
デンノウヘイカノイナサルトコロエイツデミマシタ  
ガホントニリッパナトコロデシタカラミンナガヒジ  
ウニオドロイテナントモイイマセシデシタ。又ミ  
ツコシトユウ出ミタイナイエエ行キマシタ。ソノト  
キニエレベーターニハイッテスーフトウエアガリ  
マシタカラミンナガガッカリシテコレハ人ガコシラ  
エタモノデハナイトオモイマシタ。

七月三十日 ハレ

ウエノコウエントユウトコロエ行キマシタ。ソコ  
ワタカイトコロデゴザイマスカラホウボウノイエラ  
見ラレマシタ。ソノトキニ日本ノ人ノオオノイノガワ  
カリマシタ。ソレカラドウブツエンエハイッテミマ  
シタガケモノトトリノシユルイガアリマシタ。ソレ

ワミンナマダ見タコトノナイモノバカリデカンコウ  
ダンノ人タチガメヅラシイトイッテ日本ノ人ノイロ  
イロナモノヲアツメルコトヲホメマシタ。

七月三十一日 ハレ

メイジジグウエ見ニ行キマシタ。ソコニワメイ  
ジデンノウノツカッタタカラモノガアリマシタ。ソ  
レヲ見タトキニナンダカコワイヨウナココロモチガ  
シテソトエデテオハナシラシテ見ルトダレデモメイ  
ジデンノウガ一バンエライカミサマダトイッテホメ  
マシタ。ソレカラセンバイキコクエイツテ見マシタ  
ガ一日ニナンゼンマン本ノタバコガデキルノダトユ  
ウコトヲキキマシタカラヒジウニオドロイテ南洋  
ノ人ワトテモ日本ノ人ニワカナワナイトユウコト  
ヲソウダシテオリマシタ。

八月一日 ハレ

今日ワヤスミデアリマスカラミンナガイママデ見



タトコロノオハナシナドフシテヨロコソデ一日ノヤ  
スミニカラダヲヤスメマシタ。

八月二日 ハレ

今日ワアサハヤクカラオキテシユツ パツノシタク  
フシテ朝六時ニ東京エキカラキシニノリマシテ  
ホウボウノイロイロトカワツタコトヲミテメヅラシ  
イコトノオハナシヲシテユウガタノ六時三十九分ニ  
名古屋ニツキマシタ。

八月三日 ハレ

今日ワミンナデモツコウバト時計ノセイゾウバナ  
ドヲ見テソレカラ名古屋ノオシロヲ見テカラマイヅ  
ルコウエンニ行キマシテ一日ノツカレヲリカ  
ヤスメミンナト今日見タトコロヲハナシテヤスマ  
シタ。

八月四日 ハレ

今日ノアサノ八ジニ名古屋エキカラキシニノリ  
マシタ。ハシッテ行キナガラホウボウノハタケヤシ  
ゴトヲシテイル人ヲ見テカンシントオモイマシタ。  
ソウシテミンナガキシンノナカデ南洋ノ人ワドウエ  
ウフウニナッタ日本ノ人ノヨウニヨクハタラキマ  
スカトユウ事ヲソウダンシテイマシタ。ソレカラゴ  
ゴノ二ジニキョウトヘツキマシタ。

八月五日 ハレ

今日ワシンデントユウオオキナクテモノヲ見ニ  
行キマシタ。其ノイエヲオオムカシカラデキタモノ  
デミンナガオドロクヨウナキガシテ申ヲ見テイマシ  
タ。ソレカラヤドヤエカエツテキテ一ツトコロニア  
ツマツテソウシテカンコウダンノ人ヲチワ一パンハ  
ジメノキタトキニ東京ワ一パンリッパナトコロトオ  
モツテオリマシタガヨソノムラニイッテ見ルトヤツ  
バリ東京ノヨウニリッパナトコロノアルノニミナノ  
人ヲオドロキマシタ。

八月六日 ハレ

今日ワフクダサイダセイゾウトダイガクビヨウイ  
ンエケンブツニ行キマシタ。ダイガクビヨウインワ  
大ソウ大キナクテモノデミンナガ三ツカノアイダ  
ケンブツヲシテモマダミエナイトコロガタクサ  
ンゴザイマシタ。ソレダカラミンナガヒジヨウニオ  
ドロイテ日本ワナカノツヨイクニダトイッテホメ  
マシタ。ソレカラユウガタニナツテカウドウシヤシ  
ンヲ見テイロノオモシロイヨウナコトがアリマ  
シテヒジヨウニヨロコビマシタ。

八月八日 ハレ

今日ワケンブツニ行ッテカエツテキタトキニアツ  
マツテ今マデジブンノ島ニオリマシテココエキテ見  
テバラオヨリモリッパナトコロデコンドウ島エカエ  
ツテケモノノイエ見タイナウチニハイッタラマコト  
ニハツカシイコトデワアリマセンカトユウハナシラ  
シテネドコニネマシタ。

八月九日 ハレ

今日ワキョウトエキカラキシニノツテオオサカ  
エユキマシタ。キシヤノ中デキョウトオオサカノ  
アイダニイエガゴザイマセントオモイマシタガトシ  
ルニハイッテデタラバイエガオオサカマデナラン  
デアリマシタカラミンナガナルホド日本ノアイテイ  
ルトコロワスコシモアリマセントイッテホメマシ  
タ。ソレカラオオサカニツイテスグトニモツラカタ  
ツケテシヤクシヨイッテヒルハンライタダイテカ、

八月七日 ハレ

今日ワキシヤニノツテナラエケンブツニユキマシ  
タソコニワ大ヘン大キナダイブツトキレイナイケガ  
アツテ人モスクナイトコロデシタカラカンコウダン  
ノ人ヲチワヨイココロモチガシテキシヤニノツテヤ  
ドヤエカエリマシタ。



シンブンシヤエケンブツニ行キマシタ。ソコニワー  
バンメヅラシイキカイガアリマシタ。ミナサンワ見  
テイナガラコノキカイワカミサマガカンガエタダロ  
ウトイイマシタ。

八月十日 ハレ

今日ワリクグンノヘイタイガオラレトコロエ見  
ニ行キマシタ。アソコエイッテミルト大ソウ大キナ  
石ガカサネテアリマシタ。ソレカラソノ石ノ大キサ  
ヲイタガキサンカラキイテ大ソウオドロイテヤドヤ  
エカエリマシタ。

八月十一日 ハレ

今日ワケンブツニ行ッテカエッテキテユウハンラ  
タベテカラアツマッテ日本ワ今ノヨウニリッパニデ  
キテアルノワナンノタメデスカトユウ事ヲソウダン  
シテイマシタ。ソレカラミンナガテンノウヘイカノ  
タメデオカネヲヤスコトト人ノハタラクコトトソ

コノ日コウベエケンブツニ行キマシタラソレデミ  
ンナガコウユウコトヲカンガエマシタ。ソレカラ三  
ジニコウベカラオオサカエカエリマシタ。オオサカ  
ニツイタノワチウドゴゴノ五ジゴロデシタ。

八月十三日 ハレ

今日ワドコエモ行カナイダダヤドヤニイテバラ  
ホ島ニデキルヨウナモノヲカンガエテイマシタ。ソ  
レカラゴゴノ五ジゴロオオサカエカキラキシヤデモ  
ジエ行キマシタ。ノウシテモシワトオイトコロデシ  
タカラキシヤノ中デ一バントマリマシタ。ソレカラ  
ヨルノ十二ジゴロサムイカゼガフイテキテミンナガ  
スコシカゼヲヒキマシタ。

八月十四日 ハレ

今日ハンモノセキニツキマシタ。其ノトキニデ  
スイマルトユウフネニノリマシタ。ノッタタビゴト  
ニジブンノトマルヤドヤトオモイマシタラジカンニ

ノホカイロノナクニノタメニナルコトヲムラムラ  
ノ人ビトニイッショウケンメイニナッテヤルヨウニ  
トオシエテヤリマシタカラソレデ其ノタメニ日本  
ワ大ソウリッパナクニナリマシタトユウコトヲカ  
ンガエマシタ。ソレカラカンコウダンノ人タチワコ  
ンドワジブンノ島エカエッタライッショウケンメイ  
ニ村ノタメニナルコトヲマモッテデキルダケハタラ  
キマストイッテネドコニネマシタ。

八月十二日 ハレ

今日ワケンブツニイッテカエッテキテイロノナ  
見テキタトコロノオハナシヲシテイマシタ。其ノタ  
メニジブンノ島ノコトヲオモイダシテカエリタイ人  
モアル。又カエリタクナイ人モアリマシタ。又ミン  
ナノ人ガバラオエカエッタラバオカネヲタクサンア  
ツメテウチモトチモシッカリコシラエテカラオカネ  
ノノコリガゴザイマシタ又日本エケンブツニユキ  
マストハナシテオシエマシタ。

ナッテウゴイテハジメテミナサンワビククリンテ大  
キナコエデワライマシタ。

八月十五日 ハレ

今日ワミンナノカラダガヨクッテヤワタノセイテ  
ウジヨエケンブツニ行キマシタガ火バカリデシタカ  
ラナンダカコワイヨウナコロモチデシタソレヲミ  
テカノ大日本セイトウカブシキカイシヤノコウバエ  
見ニ行キマシタ。ソウシテ中ニハイッテ見ルト山ヲ  
コシラエタヨウニタクサンノサトウガアリマシタ。

八月十六日

今日ワドコエモ行カナイダダバラオエモッテ行  
クオミヤガヲカッテイマシタ。

八月十七日 ハレ

今日ワミンナヤスンデハジニシモノセキエチ  
カンヲデムカエニ行キマシタ。ソレカラヤドヤエカ



エッテジブンノオミヤダモノヲカイニ行キマシタ。  
今日ワイヨ／＼カエルヨウニナリマシタカラニモ  
ツラシツカリカタツケテサンバシマデモッテ行キマ  
シタ。イッタトコロガフネノシユッパンハ十八日ト  
ユウ事ヲキキマシテ又ヤドヤエカエリマシタ。

八月十八日 ハレ

今日ノゴゼンノ九ジゴロニサンバシカラランチニ  
ノッテフネエ行キマシタ。ソレカラニモツラカタツ  
ケテカラ十二ジニシユッパンシマシタ。ソレカラミ  
ナサンハデッキノ上エアガッテ日本ノ見タトコロノ  
コトヲオモヒダシテカナシクナリマシタ。

八月十九日 クモリ

今日ワフネガナミノアライトコロエ行キマシタ。  
其ノトキニミナサンワアタマガイタクナツテタベモ  
ノヲタベルコトガデキマセンデシタ。又フネガヒジ  
ウニユレテイマシタカラミンナワフネノシヅムノ

今日ワオガサワラニウキマシマシタゲンキガヨク  
ツテオカエアガッタ人モアルシマタナダカキモチ  
ガワルクツテアガラナカッタ人モアリマシタ。ソレ  
カラオガサワラニ三ジカンホドタツテカラシユッパ  
ンシマシタ。

八月二十三日 ハレ

今日ワフネノ人ノオハナシデワサイパンエイツタ  
ナラバ一バントマルトユウオハナシヲキキマシテミ  
ナサンガサイパンワジブンノ島トオナジ島デゴザイ  
マスカラヨイトコロヲ見デジブンノ島エカエッタ  
ソレトオナジウニコシラエマシウトトイイマシ  
タ。

八月二十四日 ハレ

今日ワナニモオモシロイヨウナ事ガゴザイマセン  
デシタカラミンナガヒジヨウニココロボソイデシ  
タ。ソレカラゴゴノ四ジニフネノオカタガ七ジニシ

ヲタイヘンシンパイシマシタ。

八月二十日 ハレ

今日ワナミガスコシシツカニナツテミンナワヨイ  
キモチニナツテゴハンヲタクサニイタグイデデッキ  
ノウエエアガッテ日本ノイロ／＼ノ見タトコロノオ  
ハナシヲシテイマシタ。ソレカラミナサンワバラオ  
島カラカンコウダンニイッテカエツテキタ人ガナカ  
マニナツテジブンノ村ノ一ツトコロニイエヲタテ  
ミチモキレイニシテ村エオカネノクルミチヲ一ツカ  
ンガエタラドウデアアルカトユウコトヲオモイダシ  
マシタ。

八月二十一日 ハレ

今日ワナンダカハヤクカエリタイヨウナキガシテ  
ヒジウニフネノ中ガアキテキマシタ。

八月二十二日 ハレ

パイゴザイマストユウオハナシヲキキマシテミン  
ナガウレシクナリマシタ。ソウシテ七ジニハジマツ  
テミナサンワタイヘンヨロコソデワライマシタ。

八月二十五日 ハレ

今日ノゴゴノ一ジニサイパンニウキマシタ。ソレ  
カラフネニ一バントマツテアサノ八ジニアガリタイ  
ヒトガアリマシタラアガツテモヨロシイトエワレマ  
シタカラオカエアガリマシタ。ソレカラゴゴノ三ジ  
ゴロフネエカエツテキマシタ。ソレカラ四ジニシユ  
ツパンシマシタ。

八月二十六日 ハレ

今日ワテニアントユウ島ノソバヲトオツテイマシ  
タカラソノトキニハユウガタノ六ジゴロデシタ。ソ  
レカラ其ノ島ノヨウスヲサイパンノ人ニキキマシタ  
ラウシトシカノオオイトコロダトユウ事ヲオシエテ  
モライマシタ。



八月二十七日 ハレ  
今日ノアサノ六ジニオキタラ島ガミエマシタカラ  
ダレデモメヅラシイトイマテトウクノホウカラ見エ  
ナクナルマデ見テオリマシタ。

八月二十八日 ハレ  
アサオキテナニモ見エマセンノトル事モアリマ  
センデシタカラミンナノ人トイロノオハナシナ  
ドフシテ一日スミマシタ。

八月二十九日 ハレ  
今日ノ七時ゴロニヤッブエアガリマシタ。ソレカ  
ライタガキサンガガッコウマデ私ダチヲツレテ行キ  
マシタ。ソウシテソノガッコウノ中ガヒジウニキ  
レイデゴザイマシタ。ソレカラサンパンエキデシバ  
ラクヤスンデ十一ジニランチニノッテフネエキマ  
シタ。ソレカラ十二ジニシユッパンシマシタ。ソウ  
シテヒルハパンヲイタダイテカラニモツラカタツケ

マシタ。ソレカラミナサンワバラオエカエルノワカ  
ンガエテヨロコブヨウナココロモチガシテゲンキデ  
イマシタ。

八月三十日  
アサオキタトキバラオエツキマストユウハナシラ  
キキマシテミナサンワヒジヨウニヨロコンデニモツ  
ヲカタツケテキモノヲキチ一ジニツキマシタ。ツイ  
タトキニオムカイニクルボートガゴザイマセンデシ  
タカラミンナガオコッテイマシタ。ソレカラシチ  
ウチヨウトソノホカヤクシノエライオカタガ私ダ  
チヲアイサツニキマシテミナサンハヒジウニウレ  
シクナリマシタ。ソレカラタダノサンカラ五ジニナ  
イムブチウノオハナシガゴザイマスカラキテクダ  
サイトイイマシタ。五ジゴロニミンナガヤクシニ  
アツマツテナイムブチウヤシチウチウヤイロ  
ノナタメニナル事ヲオハナシニナリマシテミンナ  
ガヒジウニヨロコンデムラエカエリマシタ。

### 日本兒童の文

恵雨生

日の光にすこし餘白がありますから、日本の兒童の綴つた文章を數篇のせることにしました。  
國語を學ぶ一番の近路は、聽いて話すがよろしい。讀んで綴るがよろしい。聽くことと話すこととで  
あり、讀むことと綴ることとを考へないでは、聽くことも、話すことも、讀むことも、綴ることも、  
なるし、綴ることを考へないでは、聽くことも、話すことも、讀むことも、綴ることも、  
こゝにのせる兒童の文はこう書くものだといふお手本ではなくて、誰にでもある日々の出來事を考へてつ  
れば、それが立派な文であるということを示すためです。自分の身に引きあて、よく讀んで下さい。

「すきなことをおきなさい」といつた時に尋常  
四年の男の子がさら／＼と一時間に書きあげた  
文です。今度南洋の補習科讀本の一に入れました  
からことばが少しおもしろいですが想も順序も兒  
童の綴つたままです。

O GUN

小さいねえさんが、うまそりなりんごをもつてい  
らつしやいました。私が

「半分にして下さいませんか。」  
「いいましたら、ねえさんわ  
とおぼんを持つて來たらあげましょう。」  
とおつしやいました。私はだいどころえいつて、一  
番きれいなを持つて來ました。ねえさんは銀色に  
光るナイフで、うすくきれいにする／＼とおむきに  
なりました。

「きれいなようになさいね。」  
といつたら、赤いかわが黒いぼんの上におちました



ねえさんわりんごを半分にきつて下さいました。ほんとうにおいしいりんごでした。

これも補習讀本の一に入れておきました殆んど原作のまゝです東京の児童のきびくした對話を注意しておよみなさい對話にゆるみのないことがわかるやうになれば國語の力わよほどたしかなものです尋常四年の男の子の文です。

### ○ あいつがな

此の頃學校からかえつてうちにあそんでいるといつも友だちがさそいに来ます。

「一郎さんあそばないか。」

「あそぼう。」

外に出ていって

「何をしてあそぼうか。」

という

「うちえお出よ。」

つまらないと思います。

おとうさんにねがつて、よくはしる犬をかつていたいで、それをあいてれんしゆうをしうかと思ひますが、許してくださいるかどうかわかりませんが、かけつこのあいてがないのはさみしいものです。

これも補習科の一の巻にいれておきました。尋常四年の男の子の文です。まじめな児童の考へと、ねずみの一生懸命のはたらきとが合して、このこつけいを演じたのです。母のお小言もまじめなことだが、ちよつとふきだしそな感じがあひびます。

### ○ 思ひ出

私がまた學校にはいらぬ頃のことでありました。私がにわに出てあそんでいますと、白い猫が走つて来ました。おやつと思つて見ると、ちゆうくとなきました。よくく見ると猫はねずみをくわえ

といふ。私はお天氣のよい日わ外であそぶ方が好きだから

「外であそぼうよ。」

といひます。

「でも何にもすることがないんだもの。」

「何にもなければかけつこでもしよう。」

「だつて君わはやいんだもの。」

「まけたつて、一しうけんめいにやればいいぢやないか。」

「でもまけるところを人に見られると、きまりがわるいんだもの。」

「なんだ男のくせに。」

「つでもこんなことをいひます。かけつこをすればかたなければならぬものと思つてゐる。かける力をつよくするためだといふことを知りません。私わかけつこはすきですがかたなければならぬと思つたことありません。たゞうちの近所に私よりはよい人がないので十分にれんしゆうが出来ないのわ

ていました。私わかわいそうだと思つて、さつそく猫をつかまえてねずみをはなしてやりました。するとねずみわ助けてやつた私の指にくいついて放れませんでした。私わわつとなきだしました。

そのこえにおどろいてうちから人がかけ出して來ました。ぶらさがつてゐるねずみを見てすぐにとつてくれました。ねずみは死物ぐるいでかみついてそのまゝ死んだのでした。おかあさんがいらつして「こまつたことをしてくれましたね。このいそがし

のに。」とおつしやいました。そうしてしようどくをして下さいました。私はこの時「助けてやつてくいつかれ

てわつまらぬ」と思ひました。補習科の二の巻にとつておきました。岡山の高等學校に入學した兄と二人で、おわかれのために銀座にいつたのです。それがついに永遠のわかれになつてしまつたのです。涙なくてしかも



血涙の文とわこれです。尋常六年の男の子の文です。

### ○ 最後の日

「行かう。」  
兄さんはこういいました。うちの門を出て關口町に  
いそぎました。

「忠義お前本をかうのとパウリスターに行くのとど  
つちがよ。」

と兄さんがまたきました。私は

「両方がS.S.Y。」

ととうと兄さんは

「すいぶんするいなあ。やあもう關口町だ。早く電  
車に乗らう。」

といなながら電車に乗りました。

やがて京橋についたので電車を下りてパウリスター  
にいきました。そうして御飯をたべました。そこを  
出てから本を買つてうちにかへりました。

これが兄さんに別れる最後の日でありました。あの  
優しい兄さんわ遠い／＼たびにむかつたのでした。  
私はこの時の事を私が死ぬまで忘れまいと思いま  
す。

これも補習科の二の巻にとつておきました。私  
は二十年近く東京高等師範學校で、兒童に綴方  
を教えていましたが、父母についてこれほどま  
じめな立派な文は、この前にもなく、このあと  
にもありません。とうとい文です。尋常六年の  
男の子の文。

### ○ おとうさん

私のおとうさんは眞に私を愛してくださいます。  
おとうさんは毎日朝からおひるまで病院へいつて  
らつしやいます。手術の日は午後五時頃におかえり  
になります。私らが夕飯をたべているとがらりと  
かかみを開いてはいつていらつしやいます。見ると

おとうさんの顔には玉の汗が光つています。

「車をよんでこい。」

おとうさんわこういつて手術着をぬぎ、新しい洋服  
にきかえてまた往診にいらつしやいます。

私はおとうさんのこうしたはたらきを見ると、私  
が早くえらくなつて、おとうさんを助けなければな  
らない。おとうさんを助けるのは私しかないのだ。  
早くおとうさんに樂をさせなければならぬ。」とこ  
う考へて勉強する氣になります。

私にはおとうさんを助けるといふ責任があります。

### ○ おかあさん

私のおかあさんもまたおとうさんと同じように  
私を愛して下さいます。

おかあさんは私が大學を卒業するのを非常になつ  
ていらつしやいます。毎日勉強するそばにきて色々  
なことを教えて下さいます。それですから私も早  
く大學を卒業したいと思つて一心に勉強します。

「武美が大學を卒業するまではどうしても死ぬ事は  
出来ない。」

これは母の口ぐせです。私はこの言葉を思いだすた  
びに早く大學を卒業して母を安心させなければすま  
ないと考へます。しかし大學を卒業するにはどうし  
てもこれから十三年かかる。中學が五年、高等學校  
が三年、大學が附科だから四年、それに小學最後の  
一年、合して十三年かかります。十三年といえは私  
が生れてから今までよりも、まだ長い年です。私は  
今後十三年間は母の笑顔をめめてに學問をするつも  
りです。

母の恩は海よりもふかし。

これも補習科の二の巻にとつておきました。尋  
常六年の女の子がこういふ考をもつようにな  
つて來ます。大人の考としても、これほどま  
まつたのわ少なからうと思ひます。人が一生こ  
ういふ考でいることが出来たら、この世わどん



# 説明 ターゲット

この原本は  
一部文書が  
糊付けされています

大正十四年一月二十二日印刷  
大正十四年一月二十六日發行

日の光第一號奥附  
(非賣品)

南洋應内  
發行兼 財恩 獎 學 會  
代表者

池谷伊太郎

印刷者 東京市牛込區市谷加賀町一丁目十二番地  
印刷所 根本力三  
英會社 會社 秀會 舍

## 返却期限票

- 最後にある日付があなたの返却期限です。
- 遅れないように期限内に返却しましょう。
- 続いて借りたいときは届け出てください。

ことばかりです。悪いこともするし、しなければならぬことをしないこともあります。私はいつにならぬことをしなす。

ゆうべのゆめに見たような。

返却期限票	MARUZEN

あなたの新しいものでしょう。  
○ 満足する生活

つたら満足な生活が出来るでせう。  
早く自分で満足する生活がしたい。

0000870081063



# 説明 ターゲット

この原本は  
一部文書が  
糊付けされています

なれたのしいものでしょう。  
○ 満足する生活

は何のために生きてゐるのかといふことをこの  
田先生は「自分が満足するために」とおつしや  
した。私はほんとうにそうだと思います。色々  
事をするのでも、自分が満足するまでといふ心  
ければ、出来るものではありません。文を綴る  
も、算術をするのでも、自分が満足したいとい  
あるから出来るのです。人はしなければなら  
きまつた事をしないで、いつか埋めあわせる  
ことがやはり満足になるのです。悪い事をして  
で満足だなどという人があるかも知れませんが  
決して心の奥は満足ではありません。けれども  
の生活をふりかえてみると、全く満足でない  
ことばかりです。悪いこともするし、しなければな  
らないことをしないこともあります。私はいつにな

つたら満足な生活が出来てせう。早く自分で満足  
する生活がしたい。

## 足の跡

夜明の濱の白砂に  
だあれがつけたか足の趾  
ひとすじ長い足の趾  
どこまでつづく足の趾  
遠くはるかに見ておれば  
ゆうべのゆめを思ひだす  
砂につづいた足の趾  
ゆうべのゆめに見たような。

0000870081063

大正十四年一月二十二日印刷  
大正十四年一月二十六日發行

日の光第一號奥附  
(非賣品)

南洋應内  
總編輯者 財恩賜 獎學會  
代表者 池谷伊太郎

印刷者 東京市牛込區市谷加賀町一丁目十二番地  
根本力三

印刷所 東京市牛込區市谷加賀町一丁目十二番地  
株式會社 秀英舍



